

1. はじめに

(1) まちづくりビジョン策定の趣旨

新今宮駅周辺は、市内有数の繁華街であるなんばや天王寺・阿倍野に近接し、大阪市内や他県へのアクセスにも優れるなど、大阪市全域の中でも利便性の高い地域です。また関西国際空港から複数の鉄道ルートが確保されているなどアクセスに優れ、周辺には多くの宿泊施設や地域資源が存在することなどから、近年ではインバウンドをはじめとした来街者が急増しています。

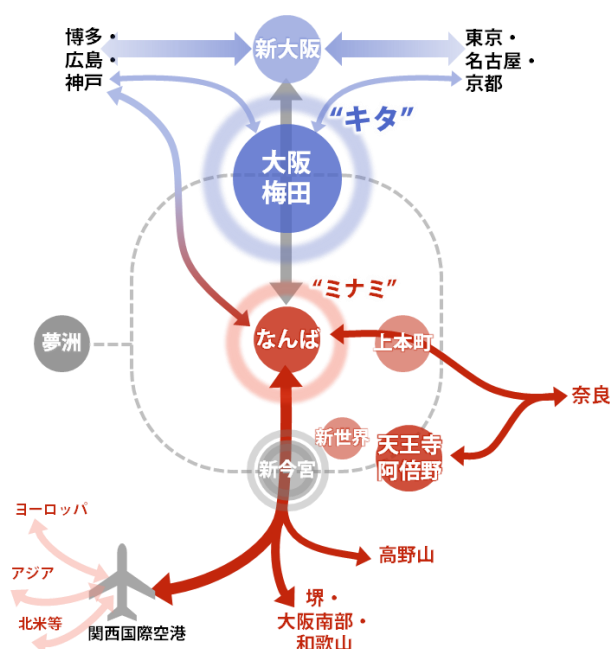
新今宮駅の北側では、2022年春に開業予定の「星野リゾートOMO7 大阪新今宮」をはじめとした新規施設の整備が進んでいます。また新今宮駅南側の西成区においても、2012年に始まった西成特区構想のもとで様々な取組が進められています。

更に2025年には大阪・関西万博の開催、2031年にはなにわ筋線の開業が予定されており、今後5年から10年の間にまちが大きく変わっていくことが予想されます。

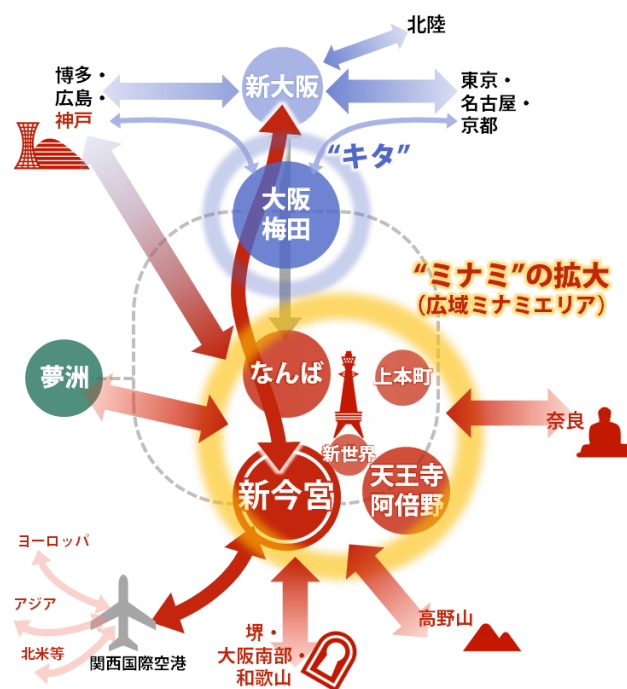
一方、当地域の玄関口である新今宮駅は、乗換動線や乗り降りしやすい駅としての整備が課題であり、官民連携による改善策の検討が待たれています。直近の動きとして、鉄道事業者を中心とした「新今宮駅周辺観光まちづくり推進協議会」が2019年秋に発足し、また、駅の南側では西成特区構想が進む中、これらの動きと連動し、将来を先取りした官民連携によるまちづくりが期待されている状況です。

本ビジョンは、まちの変化が進む新今宮駅北側エリアにおいて、観光・賑わいづくりの視点を踏まえた概ね5年（大阪・関西万博）～10年（なにわ筋線開業）のまちづくりについて、その方向性や将来像を共有し、関係者・事業者による取組推進や、周囲の発展に向けて投資しやすい環境を創出するために、大阪市が策定するものです。

これまでの大阪南部エリア



これからの大阪南部エリア



(2) まちづくりビジョンの対象範囲

まちづくりビジョンの対象範囲は、新今宮駅北側の下図に示す区域とします。

